

令和5年3月24日 月曜日

根を伸ばす

南アルプス市立若草中学校
2年1組 学級通信
発行責任者 担任 安富伸裕
最終号

令和6年度 修了式

「ありがとう!2年1組!!解散!!!」

更なる飛躍を誓って...

われらの前途は輝きながら^{けんしゅん}険峻である

^{けんしゅん}険峻のその度ごとに四次芸術は巨大と深さを加へる

詩人は苦痛をも^{きょうらく}享樂する

永久の未完成これ完成である

宮沢賢治 著 『農民芸術概論』より抜粋

^{けんしゅん}※ 険峻…高く険しいこと 四次芸術…宮沢賢治さんの造語 ^{きょうらく}享樂…快樂のこと

宮沢賢治さんは、「銀河鉄道の夜」「注文の多い料理店」など、童話や詩などを創作した作家です。

実はこの方は、農業高校の先生をしていました。たった4年間でした。知っているようで知らないことや、知りたくないのに知ってしまうこと、どうでもいいのに知り得てしまうことなど、「知る」ということについてのお話がたくさんあるそうです。

宮沢賢治さんの「銀河鉄道の夜」という話は、彼が幼少期に同級生が川で亡くなったことが創作のきっかけになっています。同級生の死に際して、自分と同じ年の人間がこの世からいなくなってしまう事実を知り、彼は大きなショックを受けたはずですが、その時の心の動きが、やがて「銀河鉄道の夜」に結びつくのです。ジョバンニという少年とカンパルネラという同級生。実は仲良しではなかった。ごく普通の同級生だったということは、彼の実体験と同じです。そして、このお話は、何回か書き直しがされています。実は、このお話は完成していないのだそうです。

なぜ、このような話をしたのかということ、冒頭の言葉を子どもたちに伝えたかったからです。中学校の2年目が終わり、義務教育最後の1年間を向かえる今、「永久の未完成これ完成である」の言葉に触れることで、もう一度考え直してもらいたいと思っています。